

+ 医知創造ラボ

病気で働けず収入ゼロ… でも給料の約3分の2？

会社員の味方「傷病手当金」のしくみ

監修：脳神経内科専門医 所要 約4分

病気で長く会社を休むと、 生活費はどうなるの？

結論

会社員なら傷病手当金。

給料の約3分の2が、最長1年6か月もらえます。

- この動画でわかること **AGENDA**

3つのポイントで、安心する

1 どんな制度？ 誰がもらえる？

病気で働けないときの生活保障

2 いくら？ いつまで？

給料の約3分の2・最長1年6か月

3 もらう条件と申請

4つの条件・3ステップの手続き

■ CHAPTER 01

CHAPTER

01

どんな制度？ 誰がもらえる？

傷病手当金は 「働けない間の給料」の支え

会社などの健康保険に入っている人が、**病気やケガで働けず**、その間の**給料が出ない**とき、生活を支えるために健康保険から支給されます。

ここがポイント

対象は**仕事以外(業務外)**の病気・ケガ。仕事中のケガは**労災**という別の制度になります。

■ KEY NUMBER

約3分の2

働けない間も、給料の約3分の2が入る

正確には「標準報酬日額の3分の2」。ふだんの給料のおよそ67%が目安です。

■ CHAPTER 02

CHAPTER

02

いくら? いつまで?

1日あたりの金額のめやす

「直近1年ほどの給料の平均を1日分にした額」の**3分の2**が、1日あたりの金額です。

 例: 月給30万円ほどの人

1日あたり約**6,600円**、休んだ日数分が支給。ひと月の休みなら約**20万円**が目安です。

■ HOW LONG

1年6か月

もらえる期間(最長・通算)

2022年から「通算」に。途中で復職して中断しても、復帰した分は期間に数えず、通算1年6か月まで使えます。

■ CHAPTER 03

CHAPTER

03

もらう条件と申請

—

もらえる4つの条件

- ✓ 業務外の病気・ケガの療養で
- ✓ 働けない(仕事に就けない)
- ✓ 連続3日休んだ後の「4日目」から
- ✓ その間、給料が出ていない

=この4つを満たすと支給されます

誰でももらえる？

× 自営業(国民健康保険)でももらえる

○ 対象は会社員など健康保険の加入者。自営業の国民健康保険は原則ありません

申請の3ステップ

1

医師に「働けない」
証明をもらう



2

会社に給料の
証明をもらう



3

健康保険に
申請書を提出

知っておきたい3つの注意

- ✓ 工作中・通勤中のケガは「労災」(別制度)
- ✓ 退職後も、一定の条件を満たせば受け取れる
- ✓ 申請は後からまとめてもOK(時効は2年)

=迷ったら会社や健康保険の窓口相談を

今日の3つの持ち帰りポイント

01

給料の約3分の2

病気で働けない間、ふだんの給料のおよそ67%が支給されます。

02

最長 通算1年6か月

2022年から通算に。復職しても、その分は期間に数えません。

03

会社員・4日目から

連続3日休んだ後の4日目から。自営業の国保は原則対象外です。



ご視聴にあたってのお願い

制度の条件・金額は**2026年時点・加入先**で異なります。

実際の手続きは**会社や加入先の健康保険**にご確認ください。

+ 医知創造ラボ

役に立ったら、応援お願いします

暮らしとお金に役立つ医療の話をお届けしています



チャンネル登録



高評価

あわせて見たい:「医療費が100万円でも自己負担は約9万円? 高額療養費」